

人権 まんが 未来ちゃん

第59回 認知症ひとり歩きSOS

作画 南一平



人権まんが解説

認知症の方に見られる行動に「ひとり歩き」があります。これは「徘徊」と言われています。徘徊は「目的もなく歩き回る」という意味がありますが、認知症の方は自分なりの目的や理由があつて外出しており、事態にそぐわないことから、「ひとり歩き」と表現しています。

笠岡市では、ひとり歩きで方向不明になる可能性のある方の名前や特徴、写真などの情報を登録しておき、もしもの時に早期の発見に役立てる「笠岡市認知症ひとり歩きSOSネットワーク」を運用しています。これは、認知症の人が安全で安心できる生活環境の下で暮らしていくため、地域ぐるみで見守り支えていくとする取り組みです。

このように、住み慣れた地域で、生活環境や生活習慣などをできるだけ変えずに、これまでと同様に買い物や趣味を楽しむことは安定した暮らしにつながります。そのためにも、市民一人ひとりが認知症に対する理解を深めて、様々な生活の場面で認知症の人をサポートする社会を実現しましょう。

吉田文化会館だより③